

令和3年度 指定管理施設検証シート

【基本情報】

(令和4年3月31日現在)

施設名	高齢者在宅サービスセンター白金の森		所管課	保健福祉支援部高齢者支援課		
指定管理者	社会福祉法人奉優会		募集方法	公募		
障害者雇用率 (令和4年3月)	2.24%		利用料金制	○	使用許可権限	×
指定期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで	グループ化	特別養護老人ホーム白金の森及び高輪地区高齢者相談センターとグループ化			

【職員体制】

	正規			非正規			合計	平均年齢
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数(人)	4	4	0	14	5	9	18	48 歳
職員体制の内訳	事業所責任者1名 生活相談員6名(2名) 看護職員4名(4名) 介護職員8名(6名) 機能訓練指導員2名(2名) ドライバー1名(1名) 清掃1名(1名) ()は非常勤で内数 管理者と相談員、相談員と介護職員及び看護職員都機能訓練指導員は兼務あり							
職員の退職状況 (人/年)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
	1	7	3	7	3			

【事業実績】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
運営日数(日)	308	307	309	308	308	
一般型通所介護(介護予防含む)	10,156/93.7%	9,620/89.5%	9,140/84.5%	7,616/70.6%	7,251/67.2%	
平均要介護度	2.1	2.2	2.3	2.5	2.7	
入浴者数(人)	5,327	5,081	4,982	4,671	4,909	

【財務状況】

項目(単位:円)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収支(実績)	収入	110,007,564	111,386,206	102,124,319	101,517,165	87,525,206	
	指定管理料	15,909,522	15,328,638	14,595,865	16,113,565	14,865,553	
	利用料金	94,131,373	84,897,049	84,483,872	73,703,189	72,470,951	介護報酬 利用者負担
	事業収入	0	1,206,682	1,154,820	775,945	188,702	トライアル雇用
	区補助金						
	その他	1,345,311	691,950	1,282,608	3,531,429	0	利用者外給食収入・コロナ補助金
	支出	82,032,303	87,054,923	81,292,336	86,091,519	74,926,010	
	職員人件費	55,323,336	60,870,389	60,916,905	58,099,964	53,973,748	
	事業運営費	9,497,554	8,955,716	8,573,968	9,022,228	8,828,785	
	施設管理経費	6,807,356	6,357,722	6,557,561	6,755,801	6,020,750	
	光熱水費	4,854,391	4,927,848	5,145,642	5,379,791	5,412,147	
	修繕費	100,332	93,183	92,365	165,110	114,400	
	その他	5,449,334	5,850,065	5,895	6,668,625	576,180	本部費・減価償却費等
差引収支額	27,975,261	24,331,283	20,831,983	15,425,646	12,599,196		
指定管理料のうち区への返還額	109,115	690,107	2,227,121	3,849,312	2,423,183		
提案時の指定管理料上限額	17,703,245	17,540,971	17,941,549	17,229,173	15,258,672		
年度協定書で定める指定管理料	16,018,637	16,018,745	16,822,986	16,113,565	14,865,553		

【運営状況】

項目	指定管理者による運営状況の内容	施設所管課による評価コメント	
事業運営	施設設置目的との整合性	バーセルインデックスを活用し、ADLの維持・低下予防に努めました。事業所の年度事業計画を作成しサービス提供を行っています。	引き続き施設設置目的や運営方針を理解した上で適切な運営をするよう指導しました。
	サービス提供の状況	満足度向上に向けて毎月実施しているカンファレンスやADL（日常生活動作）の評価方法であるバーセルインデックスの作成により、毎月ケアマネージャーへご利用者の情報共有に努めていきました。	情報共有を積極的に行うことでより良いサービス提供が実施できるよう努めています。
	利用者アンケートの実施状況	第三者評価とご利用者アンケートを年2回実施しました。サービスの低下防止や活動のマンネリ化に繋げています。	アンケート集計結果に基づき、利用者の満足度を把握することで改善意識を持ちながらサービス提供に取り組んでいます。
	第三者評価の実施状況	年1回実施しています。コロナ禍において活動状況が課題となりましたが、オンラインを活用してボランティアとの交流等に取り組みました。	積極的に評価を公表し、その評価を真摯に受け止め改善していくことで継続して高い評価を得られるよう指導しました。
	運営協議会等の開催状況	訪問医・看護師・訪問PT・ケアマネージャーとオンラインで定期的なPJを開催し、コロナ対策等の情報共有・課題抽出・研修を行いました。	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら積極的に開催することで、より多くの意見を集められるような環境づくりに取り組んでいます。
	公平な運営	開かれた事業所運営を目指し、HPやFBで情報や事業所の様子を公開し、透明性ある事業所運営に努めています。また、随時見学や体験も柔軟に受け入れています。	誰でも気軽に情報を入手出来る環境づくりに励んでいます。引き続き利用者一人ひとりに寄り添った柔軟な対応をしつつ全員に正しい情報を提供していくよう指導しました。
管理運営	職員体制及び職員の育成	人事考課制度やプリセプター制度・随時面談を実施し、個々に目標を定めています。	個々のレベルに合わせた目標設定をしていくとともに、スキルアップしやすい環境づくりを構築していくよう指導しました。
	職員の労働条件	全職員が年5日以上有休取得をしています。毎月2回のノー残業デーなどの取組みも行っていきます。休暇のシフトも柔軟に対応することで労働環境改善に力を入れています。	ワークライフバランスを整えることで、職員の士気も高まりより良い人材育成を行うことが出来ています。
	施設・設備の維持管理	法令を遵守した修理等を行うことで事故防止に努めています。寝台浴の点検を行い、不具合が生じた際は速やかに対応・報告しています。	基本協定書に則り、簡易な修繕については区の承認を得たうえで指定管理者に依頼しています。寝台浴は特に注意が必要ですが、その他の不具合も早急に報告するよう指導しました。
	施設の安全管理	港区安全管理基準に基づき施設建物や設備等の日常の安全点検を実施し、毎月報告を行っています。不具合が生じた際は速やかに報告しています。	区と指定管理者の双方で日常的な安全点検を行っています。不具合箇所については速やかに区へ報告してもらうことで初動対応を行い、施設管理を行っています。
	防災・危機管理対応	感染症マニュアルに新型コロナウイルスを対応を入れて改版しました。ご利用者の情報に迅速に対応し、関係者のPCR検査を行う事で蔓延防止に努めました。	昨今の情勢を踏まえた迅速な対応を行っています。今後も最新情報をいち早く入手し危機管理に反映していくことで、利用者や職員の安全を守るよう指導しました。
	情報管理	パソコン等システム機器にはパスワードを設定しています。個人情報保護条例に基づき個人情報記載のファイルは施錠管理しております。	個人情報保護条例に基づく運用を実施しています。また、区職員によるモニタリング時には、利用者から個人情報が見えないようになっているかの確認を行っています。
	環境への配慮	離席する時や不使用時PCの電源を切る、コピー時裏紙を使用する、不要な部屋の電気は消す。また、室温調整もこまめに行っています。	職員及び利用者が常に環境への配慮を心がけてサービスを実施・利用しています。引き続き実施するよう指導しました。
	会計及び指定管理料	利用料においては誤請求防止の為、チェックを職員2名体制で行い、さらに本部経理担当が確認をしています。法人経理と情報共有しながら、毎月又は四半期毎に期限に遅れることなく区へ報告を行っています。	チェック体制については職員全員に周知し必ず実施するよう指導しました。また、収支報告について、区は、基本協定書に則り確認し、事業計画変更の際は早急に事前相談するよう指導しました。
	地域貢献	高輪消防署での消防訓練に例年参加し、万一の災害に備えました。ボランティアさんとコロナ禍で直接お会いできない中、ズーム、オンラインで繋がりました。	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、なるべく多くの地域事業に参加していくことで、地域の皆様とより良い関係を築きながら高輪エリアを盛り上げていただくよう指導しました。

指定管理者自己評価 (セルフモニタリングの実施状況等)	通院時の送迎や独居の方のお迎え時の室内点検等、ご利用者・ご家族のちょっとしたお困りごとに積極的に取り組みました。コロナ禍で利用を中断しているご利用者・御家族と定期的に連絡を取り、困りごとはないかの窓口をさせて頂きました。コロナ禍において、ご利用者・職員の安全管理を第一に取り組み、感染予防対策に努めております。
所管部門評価	利用者やそのご家族の不安を少しでも取り除こうと、積極的な取り組みが見られました。利用者が安心・安全にサービスを利用できるように、まずは職員の健康管理及び体制を整えていく必要があります。そのため、職員の育成や労働条件については随時確認していく必要があります。また、地域と連携しながら様々な事業に携わり地域貢献していくことで利用者からの信頼度も高くなり、地域からの応援もいただくことが出来ます。引き続き誠実で透明性のある運営を目指した取り組みを行うよう指導していきます。